常陸大宮市教育委員会９月定例会議事録

１　会議の名称　　常陸大宮市教育委員会９月定例会

２　開　催　日　　令和８年９月２５日（金）午前１０時００分から
午前１０時５０分まで

３　開 催 場 所　　常陸大宮市役所　行政委員会室

４　出　席　者

（１）教育長　　小野　司寿男
教育長職務代理者　　橋本　勇夫
委　　員　　宮本　亜希子
委　　員　　菊池　久義
委　　員　　楠　加代子

（２）事務局及び説明者
教育部長　　小室　修
学校教育課長　　小泉　博美
生涯学習課長　　髙橋　誠二
文化スポーツ課長　　戸澤　睦
指導室長　　阿部　倫子
学校教育課課長補佐　　相田　英樹
学校教育課主幹　　梶山　明日香

５　報　告

報告第２２号　教育長報告について

報告第２３号　令和８年第３回常陸大宮市議会定例会一般質問について

６　議　案

議案第４３号　常陸大宮市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則の制定について

７　その他

（１）各課及び教育委員の行事予定について

（２）教育委員会所管事務契約案件報告について

（３）その他

８　次回の定例会日程について

９　閉　会

１０　傍聴人の人数　　５人

１１　会議の大要

小野教育長　　本日の会議に５人の傍聴希望者がおりますので、報告いたします。

傍聴人の方は、注意事項を守って傍聴をお願いいたします。

本日の出席委員は全員です。

ただ今より、常陸大宮市教育委員会９月定例会を開会いたします。

（午前１０時００分開会）

小野教育長　　本日の議事録署名人の指名を行います。

議事録署名人に橋本勇夫委員を指名いたします。

本日の会議日程は、お配りした会議資料のとおりです。

それでは議事に入ります。

はじめに、「日程２　報告」を議題といたします。

報告第２２号　教育長報告となりますので、私の方から報告いたします。

まず、９月１日から１８日まで第３回市議会定例会が行われました。後ほど部長の方から教育に関する議案について説明があります。

それから９月６日にドリームバレーボールという、元全日本の選手たちにたくさん集まっていただいて、我々を指導していただいたり、それから常陸大宮市の合同チームとか代表チームと試合をしていただくということで、非常に中身の濃い内容だったかなと思います。中学生がよく頑張って、コートの整備ですとかモップがけ、あとはママさんバレーの人たちとかと一緒になって、子供たちの将来像というか、そういった部分を見事にしっかり実感できる良い１日だったんじゃないかなと思いました。それから教職員の方も何人かの先生に参加していただきまして、宮本委員さんも出ておりましたけれども、本当に教員の方も頑張ってやってくださって、良い事業だったかなと思います。とても有意義だったと思いました。

それから９月１２日に有機米の田んぼの稲刈りを行いました。稲刈りというよりは田植えのような状況の田んぼだったんですけれども、小学生・中学生、今回は学校指定では無くて、それぞれのいろんな学校から希望者に来ていただいて、実際に鎌で刈って、縄で束ねて、そしておだがけをしてっていう、そういったものを田んぼ１枚分を刈り取って行ったということなんですけれども、有機米を常陸大宮市では本当に一生懸命大変な思いをしながら作っていただいていますけれども、子供たちに美味しいお米を食べさせてあげられるということで、ありがたいかなと思います。

それからお手元に資料をお配りしましたが、今日から那珂・大子地区の中学校の新人体育大会が始まっております。卓球だけ１６日と１７日に先行して行っておりまして、その結果については、別紙の黄色い枠のところで報告ありました。今日からですけれども、大体は体育館それからあと常陸大宮市民球場で野球ということで、天気がちょっと心配なんですが、サッカーは昨日からもうスタートしておりまして、昨日と今日で大体うまくいくかなと思うんですけれども、もしお時間がありましたらどうぞ応援のほどよろしくお願いします。新人戦は見ていてハラハラするんですけれども、それも中学生らしいとっても良い経験になるかなと思います。

それから来週に校長会があるんですけれども、夏休みが終わりまして、いよいよ９月、１０月と、本格的に学校の中では授業を集中して行う、子供たちの力をつける時期が来るかなと思うんですけれども、大宮西小学校を除いて全部、運動会・体育祭も終わっておりますので、そういった形で集中して勉強するということ。それから秋の遠足とか校外の活動とか学習が非常に多くなってきて、子供たちも学校以外のところで活動できる機会が多くなるので、ぜひ怪我の無いようにやっていただければなと思います。あとは基本に返るっていう形で、校長会でちょっとお話ししたいと思うんですが、いつも校長会の中で話題に出すのは３点。

学力向上と不登校の対応、あとは子供と教職員の心身のメンタルヘルス。この３点をいつも学校経営の軸としてぶれないようにお願いしているんですけれども、夏休みが終わったところで再確認する意味で、基本に返りましょうという形でお話をしたいと思っております。報告は以上となります。

ただいまの件について、質問があればお願いします。

無いようですので、次に移ります。

報告第２３号　令和８年第３回常陸大宮市議会定例会一般質問について　事務局の説明をお願いします。

小室教育部長　　【報告第２３号について説明】

小野教育長　　ただいまの件について、質問があればお願いします。

無いようですので、報告は以上になります。

続きまして、「日程３　議案」に入ります。

議案第４３号　常陸大宮市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則の制定について　を議題とします。事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長　　【議案第４３号について説明】

小野教育長　　説明が終わりました。質問があればお願いいたします。

無いようですので採決に移ります。

議案第４３号につきましては、原案のとおり可決することでよろしいでしょうか。

各委員　　〈異議なし〉

小野教育長　　異議なしと認め、議案第４３号につきましては、原案のとおり可決といたします。

以上で議案が終了しました。

続きまして、「日程４　その他」に移ります。

（１）各課及び教育委員の行事予定について、事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長　外　　【行事予定説明】

小泉学校教育課長　　【教育委員の予定説明】

小野教育長　　ただいまの件について、質問があればお願いします。橋本委員どうぞ。

橋本委員　　１０月１７日の土曜日に子ども会で育成会関係だと思うんですけども研修会で、昔これをやっていたなというのを聞いたんですけれど、これと小学生対象の陸上が重なっているっていうことは、行政としてこれは望ましいのかなって。ちょっと調整という点でどうかなって思うんですが。できれば、ずらした方が。特に陸上の方は、学校でもなかなか理解が深くならないので、参加者も少ないです。行政の方でも参加者を少なくするような行事予定のような気がするんですけれど、いかがでしょう。

小野教育長　　文化スポーツ課長どうぞ。

戸澤文化スポーツ課長　　橋本委員のおっしゃる通りでございまして、横の連携の方が取れてなかったのかなと。今後は他課の行事の方も勘案しまして、行事等を決めていきたいと思います。ありがとうございます。

橋本委員　　これは、どのくらい参加するんですか。

戸澤文化スポーツ課長　　陸上記録会は４４名です。

橋本委員　　４４名。非常に今、子ども会関係も少なくなってきていますよね。後でもし参考になれば見せてもらいたいと思います。

髙橋生涯学習課長　　子ども会の方が４年生から６年生の１７名です。

橋本委員　　こっちは１７名ですね。

小野教育長　　よろしいでしょうか。

その他に無いようですので、（２）教育委員会所管事務契約案件報告について、事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長　　【契約案件説明】

小野教育長　　ただいまの件について、質問があればお願いします。

無いようですので、（３）その他について　事務局又は委員の皆さまから何かありましたらお願いします。

学校教育課長まずどうぞ。

小泉学校教育課長　　【第６回義務教育施設適正配置審議会について報告】

小野教育長　　その他ございますか。橋本委員どうぞ。

橋本委員　　前回からたくさんの資料があって、アンケートの結果とかを見せていただいているんですけれども、最初は適正配置的な内容で話し合って答申が出るのかなと思ったら、例えば合併したときの残った廃校になったところの活用みたいなのも話し合いの中に出てきているんですよね。ですから、見せていただくと幅が広くて、答申ってどんな形なのか。我々が聞いても全く分からないような話の内容だなと思って聞いているんですが。なかなかここでは話し合いにはならないとは思うんですけれども。内容からするとどうなんだろうって思いながら、こういう資料を見せていただいたんですが。

小野教育長　　学校教育課長お願いします。

小泉学校教育課長　　第５回と第６回の審議会の方で、答申案について協議をさせていただいておりまして、アンケート調査等も踏まえた中で、審議会では３つの指標といいますか、そちらをどのようにするかということで、審議を行っている状況です。審議会の方では、あくまでそういった指標を示した中で、今後、教育委員会の学校教育課が事務局になるんですけれども、そこで実際にその指標を踏まえて、実施計画的なもので学校等の統廃合について検討していこうという形になっております。来週９月３０日に最終的な適正配置の基準となる指標というのが示されまして、それをもって今後、教育委員会の方で学校の統廃合について、時期も含めて具体的なものを示していこうといった流れになっております。

橋本委員　　ありがとうございます。

小野教育長　　指標としては、かなり具体的な表現として出される点になっています。

例えば橋本委員がおっしゃったように、もし統合になって学校が残ったときに、その学校についてどのような活用の仕方があるのか。委員さんの方から意見は出ているんですが、それぞれの地域から特に意見が出たのは、やはり区長さんとか地区で責任ある方達から出ていたんですけれども、それが「ではこういう方向で」って一つの意見としてまとまる、そういうものでは無いと思います。

その他、お願いいたします。宮本委員どうぞ。

宮本委員　　議会の方でも不登校に関する話が出ていたかと思うんですが、夏休み明け９月１日にどれぐらいのお子さんが休んだのかなっていうのが気になったんですが。例えば昨年とか、その前の年。急な質問なので無いかと思うんですが、比較で分かったらなって思ったんですが。

小野教育長　　私から良いですか。毎回、長期の休みが終わった日の要するに始業日には、どういった理由でどれぐらいの子供がどんなふうに休んだかっていうものを取っております。ただ「休んだ」だけでは無くて、どんな理由で休んだっていう分別をしまして、いわゆる不登校、学校の不適応という形に関しては、ほぼ横ばいって言いますか、昨年と一昨年と。ただ、昨年はかなり減ったんですね。ですから減ってきています、ここ何年かの間には。ただ、中にはいわゆるラーケーション的な、つまりお父さんとお母さんと出かけるので、その日は来ないよっていう、始業式に。そういう子が結構増えてきていまして。あとは出席停止が多いです、意外と。夏ですけれどインフルエンザとか、いろいろ病気がありまして、全体としては数が多いなと思うんですが、不登校を理由とする休みはかなり減ってきております。ただ、学校が休みやすくなっているというか。行かなくても大丈夫っていうような、そんな雰囲気が何となくあるのもあるんじゃないかという、これあんまり良いことじゃないなと正直思っているんですけれども。そういう状況です。

宮本委員　　ありがとうございます。良かったです。昨年減ってそれと同じぐらいって

いう報告なので、嬉しいなと。

あと給食なんですが、すごく今、食育に力を入れていて、今日もお月見給食になっているんですよね。十五夜給食。すみません、名称までは聞いていないんですけれど、そういった季節のところもしっかり合わせて入れてきているのですが、９月１日の長期休暇明けってやっぱり保護者としても行くのかな、行かないのかななんて。私なんかは「今日の給食これだよ、楽しみだね」なんて掛け声というか、そういったことで、学校に行くのが嬉しい気持ちに乗せられたらな、なんて思って献立はよく見るんですけれど。何年か前の私が教育委員になったときに、長期休暇明けとか長期連休明けの給食は、子供が好きなものって多分皆さんパッと思い浮かぶかと思うんですが、唐揚げとかカレーとかだったら子供たちも「おお、今日カレーだ」なんて言って行くんじゃないかなっていうので、考えていただきたいということでお伝えしたんですが、多分もう栄養士さんなんかも何年か経って変わっていて、今年の９月１日の給食が防災給食だったんですね。自分でおにぎりを作って食べようっていう感じの防災給食だったんですが、「防災給食か、ちょっとこれが子供はどうかな」なんて思ってしまったので、やっぱりいろいろ栄養士さんたちも、時期的な季節的なものを考えてのこともあるかと思うんですが、子供に寄り添って考えていただけたらなと思いました。

小野教育長　　なるほど。やれることは何でもやった方がいいと思います。給食で、もし１人でも２人でも、学校に行きたくないなと思っても行けるんだったら、絶対やった方がいい。ありがとうございます。

橋本委員　　すみません、もう１点良いですか。

小野教育長　　どうぞ。

橋本委員　　議会の質疑の、今聞かせていただいた不登校関係なんですけれども、私が現職の頃にコーディネーターの方々とこの会議に出たこともあるんですけれど、すごく常陸大宮市のメンバーで深く考えながら会議を進めてもらっていったもの

です。以前は、市全体で７名ぐらいしか支援員さんの配置が無かった時代があって、どこに配置するかみたいな話の内容を聞いたことがあったんですけれども。前回も訪問で旧大宮幼稚園跡地を見学させてもらったんですけれども、ぜひ質問があった方とか議員の方々にも、支援センターとかそういった施設の見学でもしていただいて。すごく力を入れていると思うんです、いろんな角度で。しかも不登校の生徒って方向性が同じ者ってほとんど無いんですよね。皆さんいろんな条件で違ってきていますので、そういった形に対応するっていうのは大変なことなんだと思っているんです。でも、施設的なものも多くなってますし、ずいぶん配慮されているなという感想を持って見学させてもらいました。ぜひそのあたりは具体的に見てもらうのが一番良いんじゃないかなと思いますので、機会があればありましたら、ぜひよろしくお願いします。

小野教育長　　その他ございますか。楠委員どうぞ。

楠委員　　不登校の関係をある記事で見たんですけれども、不登校になった子の原因がやっぱり一般的に考えると、人間関係とかいじめとか、そういうところに目が向くんでしょうけれども、ある不登校児の支援事業者の方が行ったアンケートとか研究によると、低学年は何で不登校なのか分からないっていう答えが一番多くて４０％くらい分からないと答えたそうなんです。最初、授業が分からないのかななんて思ったんですけれども、不登校になぜなっているのか、自分でよく分からない。学校が嫌いでも無いけれどもみたいな、そういう子が低学年は一番多いらしいんです。人間関係とかいじめとかっていうのは５位とか６位くらいに入るらしいんですけれども。それがどこで人間関係と逆転するかっていうと、５年生あたりで人間関係とかいじめの関係、あと学校の環境があったか、その辺で逆転するっていう研究が出ていたんですけれども、ちょっとそれを興味深く見させていただきました。特に１年生は保育園・幼稚園・こども園から入ってきて、まず環境が変わる。その前に多分学校とそれから幼稚園・保育園があたりと交流を行っ

ているんでしょうけれども、その間に何かやっぱり不登校の芽が出てきてしまうのかな。小学校に入った低学年のときの先生、教職員の関わりっていうのは、本当に大切なんだなっていうのを感じました。

それから私すみません勉強不足で、特別支援教育コーディネーターというのは、例えば資格を持っている方がやっていらっしゃるんでしょうか。それとも何か市の方でお願いしているのか。

小野教育長　　指導室長お願いいたします。

阿部指導室長　　特別支援教育コーディネーターは、主に特別支援学級の担任をされていて特別支援に見識が深い先生で、各校に１名おります。特に資格というわけでは無いんですけども、特別支援教育に理解がある教諭がなっております。

楠委員　　外部から誰か入っているっていうことは無いと。分かりました、ありがとうございます。

橋本委員　　特別支援学級を主としている人たちがいるじゃないですか。そういう集まりが市内で何個かある中で、特に研究の深いリーダーになってくれる方々がいて、ご指導いただいたり、そういう話し合いをしている。そういう場に私も参加したことがあるもんですから。１人１人の事例に合わせて、いろんなアドバイスをもらったりっていうような会議は何度も。６回くらいになっていましたけれどね。そういうふうに進められているんです。

楠委員　　ありがとうございます。

小野教育長　　先ほどの楠委員からあった「よく分からない」ということ。確かにそれが大きな一つの要因として考えられることがあって、その中の分析では、例えば低学年で言語化がうまくいかないので、情報として取れないっていうこともあったんです。この間の議員さんの質問にもあったんですが、不登校っていうと、どうしても学校に来ないで家の中にいる、全然学校に寄り付かないようなイメージの子たちのことを語られるんですけれど、でも実際に年間３５週あって、日曜日

明けの月曜日に、ちょっとなんか嫌で行きたくないなと思って１日休めば、３５日の休みになるので、不登校扱いになるわけであります。残りの火曜日から金曜日は学校に来ていても、その子は不登校児童生徒なんですね。そういった観点からいくと、その不登校っていうことの理解を、いろんなイメージを持っているってことはすごく危険なことで、逆にそういったものがあるので学校の対応というのは非常に難しいなということと、かつ、やっぱり現場の中での理解と、現場じゃない周りの人たちとが、かなりまだ乖離しているところがあるので、それは学校の努力でちゃんと周りの人に理解してもらうこと、教育委員会の努力で不登校対応というのはこんな必要性があって、こういうことをやっていますってことは分かってもらう必要性があるなといつも思っています。

他にございますか。菊池委員お願いします。

菊池委員　　私は本市の特別支援教育についてなんですけれども、本当に年々充実してきているのではないかなと。市でも予算化を図ったりしながら、特別支援教育支援員の確保に努めているっていうのは感じています。私は以前、水戸市の学校に勤務していたときもあったんですけれども、時期的な問題になるんですけれど、水戸市に私がいた頃に比べると、本当に常陸大宮市は特別な配慮を必要とする児童生徒に対する取り組み、また組織、そうしたものも充実しているなと感じました。特別支援教育支援員についても、私が水戸市にいた頃は、教育委員会から人が来るときには、私達が学校で預かっている支援員を剥がす対象として見に来るのかとか、そのような思いも持っていました。なかなかつけてもらえない。せっかくつけてもらっても、学期が変わると今度は時間を減らされてしまう。児童生徒が成長しているということで。そうしたことも多々あったんですけれども、その後、本市に勤務するようになって、支援の数が多く、また勤務している数年の間に支援員さんの数、そして研修による質の向上といったものも図られてきているなって本当にしみじみ感じています。今、おそらく水戸市を低くして常陸大宮

市を高く言ったんですけれども、水戸市もあれから年数は経っていますので、特別支援教育の充実を図っているところかとは思うんですけれども、決して県や水戸市に負けないような力を入れてくれているなって感じています。以上です。

小野教育長　　分かりました。他にございますか。橋本委員お願いします。

橋本委員　　最後にもう一つすみません。実は今朝の新聞にあったんですけれども、教職員を辞める原因みたいなもの。前も一部の先生方と、今の先生方、女性の教員も含めて、結婚する人が少なくなってきたっていうような話が出ていたんですけれども、我々が教員として生活していた間っていうのは、結構市町村単位で他の市町村もそうですけれども、いろんな交流があったんですよね。ところが今は働き方改革だとか時間に縛られたりしていて、なかなか先生方のレクリエーションを含めたような集まりっていうのは非常に少なくなってきている。ということは、結婚する相手に出会う機会も少なくなっているっていうのも大きいんじゃないか、なんて話題にはなっていたんです。これは、少子化という問題から結婚っていうものの一部なんですけれども、こういったものを見ますと、悩みとかそういうものもなかなか職場だけでは。特に小さな学校になってくると人数も年齢もまちまちですので、悩み事なんかも話す機会が少ないんですけれども。各学校間ぐらいで集まったりして、レクも含めたり、ちょっと食事なんていうのをしていると、悩み事なんかも話しやすいような場が持てるんじゃないかなっていうような気がするんです。ですから、夏休みとか冬休みとか、今度校長会なんかもあるっていうので、何かそういうふうな常陸大宮市として、教職員の交流っていうんですかね。何かそういったものについても一席。そう簡単にはなかなかできないと思うんですが。以前は組合関係だと県大会まで球技大会なんかはあったんですよね。そうするとみんなで放課後に集まって、練習した後とか大会終わると食事とかっていうので、どこからか食事代くらいをいただいたんです。そういったのも今は無くなってきているような気がするんです。ですから、そういった点もあると、

辞める方とか悩みもずいぶん少なくなって、元気に先生も出来るのかなって思うんですけれど。ぜひ何かの機会にそういう話も出していただければいいのかなと思っています。

小野教育長　　ありがとうございました。実は赴任した年に校長会・役員会で話をしたときに、橋本委員さんがおっしゃっていたスポーツが昔あったよねって。バレーと野球、ソフトボールと。あとバスケもやって。そういうのを若い人たちだけでもいいから、１５校あるんだけれども、小さい学校はなかなかあれですが、どこか体育館で土曜日とか金曜日の夕方とかにやって、最後に終わったら飲み屋にでも行って、みんなでワイワイと。行ける人だけやれる人だけっていうことでどうだろうねって話をしたんです。それはいい話なんだけど、そのときの校長先生方のお返事は、学校での飲み会すら行ってないっていう若い人がほとんどで、なかなかやるとなっても人が集まるかなと。とりあえずやってみたいねって話で終わっちゃったんですよ。その後もう働き方改革の波で、学校の先生がいない話になっちゃいましたから。でも大事だと思います、やっぱり。結局、孤立無援で担任が１人で孤軍奮闘している。それではいけないんですけれども、もう学校はとてもじゃないですけれども、他の先生方もなんとか支援するような余裕が今どの教員も無くなっておりますので。ギリギリのところで、教務・教頭まで授業に出なければ成り立たない状況になっていて、子供たちは思うように先生の言うことを聞かない子たちも出てくる。もう悪循環ですよね。その中でも奮闘している人たちは、やっぱりそういう関係性っていうものを作る。本当は子供の前に立つ大人なので、そういうことを上手にみんなでうまく力を合わせることができる雰囲気と力と能力を持っている人たちじゃなければいけないんですけれど、そういう訓練って言ったら変ですけれど機会すら無い。だから思うように学級経営の中にそれが活かせなくなって、人と人との繋がりっていうものの、大事なところで何か欠けていってしまうっていう。教員を批判するわけでは無いんですけれども、そ

ういう事実が出てきていて、それはすごく大事なことだと思うので、またちょっと校長会で話をしてみたいと思います。

橋本委員　　すみません。よろしくお願いします。

小野教育長　　他にございますか。

無いようですので、続きまして、「日程５　次回の定例会日程について」　事務局からお願いします。

小泉学校教育課長　　（１０月定例会について日程調整）

小野教育長　　ありがとうございました。

それでは、次回定例会は、令和８年１０月２６日　月曜日、午前１０時より開催することにいたします。

以上をもちまして、常陸大宮市教育委員会　９月定例会を閉会いたします。

（閉会：午前１０時５０分）